

Hitchcock C. L. and Cronquist A. 1973. *Fora of the Pacific Northwest*. University of Washington Press, Seattle.

Kitamura S. 1955. *Compositae Japonicae, Pars Quarta. Mem. Col. Sci., Univ. Kyoto, (Ser. B)*. 22: 81-126.

北村四郎, 村田 源, 堀 勝 1957. 原色日本植物図鑑 草本編 I・合弁花類. 保育社, 大阪

Mabberley D. J. 1987. *The plant-book, a portable dictionary of the higher plants*. Cambridge University Press, Cambridge.

小野幹雄, 林 弥栄(監) 1987. 原色高山植物大図鑑. 北隆館, 東京.

Linnaeus C. 1753. *Species Plantarum* 2. Laurentii Salvii, Stockholm.

—1754. *Genera Plantarum*. Laurentii Salvii, Stockholm.

Makino T. 1908. *Observations on the flora of Japan*. Bot. Mag. Tokyo 22: 33-38.

牧野富太郎 1977. 牧野新日本植物図鑑. 北隆館, 東京.

沼田 真・吉沢長人(編) 1988. 新版日本原色雑草図鑑. 全国農村教育協会, 東京.

奥山春季(編) 1977. 寺崎日本植物図譜. 平凡社, 東京.

大井次三郎 1975. 日本植物誌 顕花篇 改定増補新版. 至文堂, 東京.

長田武正 1972. 日本帰化植物図鑑. 北隆館, 東京.

長田武正 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 保育社, 大阪.

佐竹義輔, 大井次三郎, 北村四郎, 亘理俊次, 富成忠夫(編) 1981. 日本の野生植物 草本 III. 平凡社, 東京.

Sprague T. A. 1929. The correct spelling of certain generic names IV. *Bul. Misc. Inform.* 2: 38-52.

豊国秀夫 1987. 植物学ラテン語辞典. 至文堂, 東京.

Zander R. 1994. *Handwörterbuch der Pflanzennamen*. 15. Auflage, Eugen Ulmer GmbH & Co., Stuttgart.

(^a 北海道大学大学院地球環境科学研究所,
^b 国立科学博物館植物研究部)

チチブイワザクラ, ミヤマスカシユリの保護について(山崎 敬)

Takasi YAMAZAKI: Preservation for *Primula tosaensis* Yatabe var. *rhabotrica* (Nakai & F. Maekawa) Ohwi and *Lilium maculatum* Thunb. var. *bukosanense* (Honda) Hara

チチブイワザクラ, ミヤマスカシユリは埼玉県の武甲山の石灰岩の崖にのみ生える希少な植物である。武甲山には、チチブイワザクラ, ミヤマスカシユリ, ブコウマメザクラなど、ここにしかないものの他に、チチブミネバリ, チチブヤナギ, ミョウギシャジン, チョウセンナニワズ, チチブヒヨウタンボク, コウシュウヒゴタイなど、武甲山だけに分布するものではないけれど、石灰岩上に生える希少植物が見られることで貴重な場所である。1941年に「武甲山石灰岩土地特殊植物群落」として一部の地域が国の天然記念物に指定され、1985年にさらに別の地域が追加された。しかし武甲山はセメント用の石灰岩の採掘で、頂上から削られ、無残な姿になっている。当然そこに生えている貴重な植物も消滅の危機にさらされているわけで、そのまま放置しておけば絶滅の恐れがある。

このことを心配した地元の横瀬町では鉱山会社との話し合いにより、1991年に武甲山石灰岩特殊植物保護増殖委員会を作り、菱光石灰工業株式会社の協力のもとに、貴重な植物の保護増殖を始め

た。チチブイワザクラ, ミヤマスカシユリの自生地の一部を保護するとともに、菱光工業から一部の土地を借用して植物園を作り、武甲山の植物を集めて多くの人に武甲山の植物を知ってもらうとともに、管理員を中心としてチチブイワザクラ, ミヤマスカシユリの増殖を試みた。幸い増殖に成功し、現在は保護地域に種子を蒔いたり、増えた株を植えたりして、保護地域での植物の増殖を試みている。横瀬町と菱光石灰工業株式会社の努力で、武甲山の貴重な植物は保護されているので、消滅の恐れはないものと思う。植物園の場所が一般の人が見にくるにはやや不便な所にあるため、町では横瀬中学校の中庭に武甲山の植物を栽培して教育の役に立てている。このような地味な仕事をあまり知られることもなく続けている、町と会社の方々に深く敬意を表したい。なおこれらの植物は石灰岩採掘工区内にあり危険も伴うので、現在は学術研究調査の方のみに解放しているので、横瀬町の教育委員会に連絡すれば、教育委員会として便宜をはかるとのことである。

(東京都中野区)